

会報

通常総会議事報告

一般社団法人溶接学会 第82回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成26年4月23日(水)10:00～12:00

場所 東京ビッグサイト 会議棟 607会議室 東京都江東区有明3-21-1

平成25年度事業報告及び会務報告

(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)

平成25年度において本会は次の事業を行った。

Ⅰ 事業報告

1. 全国大会 (定款第4条1項)

1.1 春季全国大会

平成25年4月17日～19日：学術総合センター（東京）

研究発表講演（91件）、特別講演（1件）、シンポジウム（講演5件）、フォーラム（講演5件）

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成25年9月2日～4日：岡山理科大学（岡山）

研究発表講演（172件）、ポスター発表（59件）、特別講演（1件）、論文賞受賞講演（2件）、フォーラム（講演5件）、ワークショップ（講演5件）

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第4条1項)

2.1 平成25年度溶接入門講座（第43回）

会期 平成25年6月10日、11日

会場 科学技術館（東京）

受講者 38名

平成25年度溶接入門講座（第44回）（中国支部との共同開催）

会期 平成25年11月12日、13日

会場 岡山理科大学（岡山）

受講者 42名

2.2 平成25年度溶接工学夏季大学（第61回）「中堅技術者講座」

会期 平成25年7月29日～7月31日

会場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール

受講者 57名

3. 刊行 (定款第4条3項)

3.1 溶接学会誌82巻2号～83巻1号（8冊）

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接接合教室、実験指南、他

3.2 溶接学会論文集31巻2号～32巻1号（4冊）（WEB）

主な内容 研究論文33篇

3.3 全国大会講演概要集 第92集および第93集（2冊）

3.4 平成25年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

4. 研究活動 (定款第4条1項)

4.1 研究推進部会（篠崎賢二部会長）

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会の活性化を図った。また、学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会システムの活用、研究委員会設置形態の見直し、溶接教育委員会が発案した専門教育講座の開設ならびに研究委員会国際化などに向けた対応などについて検討した。

(1) 春季全国大会においてシンポジウム「アドホック研究会発、国プロで世界に先駆けるレーザ加工技術への挑戦」の開催に協力した。

(2) 春季全国大会においてフォーラム「軽量化を目指した接合技術の動向と今後の展開」を開催した。

(3) 秋季全国大会においてフォーラム「溶接構造物の安全・安心を支える実大実験」を開催した。

(4) 溶接冶金研究委員会が中心となり、腐食防食学会との研究交流を継続実施した。

(5) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れに関する研究」（中込忠男主査）活動期限が終了したため、学会からの補助金は終了するが、活動を継続する。

(6) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会（山本元道主査）

平成25年11月21日（木）～22日（金）に韓国、釜山にて開催された第3回日中韓ジョイントシンポジウム（3rd EAST-WJ）へ講演者派遣を行った。

日本からは瀬知啓久氏（鹿児島県工業技術センター）、徳仁寿氏（新日鐵住金（株））、三上欣希氏（大阪大学）の3名を若手講演者として派遣した。中立機関、企業、大学それぞれで活躍中の若手研究者を派遣し、日本での若手研究者による研究情報を発信するとともに、他国の若手研究者・技術者との交流を深め、グローバルネットワーク形成に資する活動を行った。詳細は学会誌83巻2号じょうほう通ページにて掲載予定である。

4.2 溶接構造研究委員会（村川英一委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第197回	25.3.15	大阪	36	研究報告 5件 (社)日本船舶海洋工学会 材料溶接研究会と合同
第198回	25.7.5	大阪	28	研究報告 4件
第199回	25.7.16	東京	24	研究報告 9件
第200回	25.9.3	岡山		秋季全国大会フォーラムと併催 5件
第201回	25.11.18	千葉	20	研究報告 4件 見学会
第202回	26.1.17	大阪	62	第200回記念講演 特別講演7件

4.3 溶接法研究委員会（浅井 知委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第222回	25.5.9	東京	46	研究報告 6件
第223回	25.8.22~23	北海道	41.40	研究報告 6件 見学会
第224回	25.11.5	大阪	55	研究報告 6件
セミナー	25.12.10	東京	46	溶接法セミナー「溶接プロセスの可視化・シミュレーション技術」
第225回	26.1.29~30	東京	63.48	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会（廣瀬明夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第211回	25.5.17	東京	29	研究報告 6件
第212回	25.10.7~8	神戸	22.23	研究報告 4件 見学会
第213回	25.11.25	東京	49	「新版 溶接-接合部組織写真集」出版記念シンポジウム
第214回	26.1.29~30	東京	63.48	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（大沢直樹委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第237回	25.4.24	東京	19	研究報告 5件
第238回	25.6.26	東京	22	研究報告 4件
第239回	25.11.25	名古屋	18	研究報告 1件 見学会
第240回	26.1.24	東京	22	研究報告 3件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（片山聖二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第73回	25.5.28	東京	29	研究報告 6件
第74回	25.11.27	愛知	13	研究報告 3件 見学会
第75回	26.2.26	大阪	20	研究報告 2件 見学会

4.7 軽構造接合加工研究委員会（及川初彦委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第100回	25.4.28	東京	29	春季全国大会フォーラムと併催 5件
第101回	25.6.12	東京	36	研究報告 6件
第102回	25.9.26	大阪	26	研究報告 6件
第103回	25.12.4	千葉	32	研究報告 7件 見学会
第104回	26.1.15	東京	29	研究報告 6件

4.8 マイクロ接合研究委員会（齋藤重正委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
103	25.5.24	東京	36	研究報告 7件
104	25.9.6	東京	34	研究報告 6件
105	25.11.15	東京	42	ワークショップと併催 研究報告 7件
第1回地域版 ネットワーキング シンポジウム	25.12.12~13	富山	33	北陸支部共同開催 研究報告 6件
	26.2.4~5	横浜	530	Mate2014 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（高橋康夫委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第93回	25.5.17	東京	29	研究報告 5件
第94回	25.10.4	東京	26	研究報告 5件
シンポジウム	25.11.27~29	大阪	138	IJS T2013
第95回	26.1.24	東京	32	研究報告 5件

5. 国内活動（定款4条項4）

5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

5.2 共催，協賛，その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会，日本非破壊検査協会，日本溶

接協会，日本高圧力技術協会，腐食防食学会，日本機械学会，軽金属溶接協会，日本材料学会，日本金属学会，日本鉄鋼協会，自動車技術会，日本工学会，その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：日本保全学会「第9回学術講演会」（H24.7.25-27）
- (2) 協賛：（一社）日本機械学会「第8回技術者のための技術者倫理セミナー」（H24.5.21）
- (3) 協賛：（社）日本能率協会「ものづくりNEXT↑2012」（H24.11.14-16）
- (4) 協賛：（社）日本高圧力技術協会「第22回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理の基礎」（H24.6.28-29）
- (5) 協賛：日本海洋工学会「第23回海洋工学シンポジウム」（H24.8.2-3）
- (6) 協賛：（公社）日本材料学会「第16回および第17回初心者のための疲労設計法講習会」（H24.8.6-7, H24.9.5-6）
- (7) 協賛：（公社）日本材料学会「第31回疲労シンポジウム」（H24.11.20-21）
- (8) 協賛：レーザ加工学会，（一社）レーザ学会，中部レーザ応用技術研究会「LPCC国際シンポジウム」（H24.4.26-27）
- (9) 協賛：（一社）日本機械学会「第20回機械材料・材料加工技術講演会」（H24.11.30-12.2）
- (10) 後援：（財）神奈川科学技術アカデミー「平成24年度 KAST 教育講座」（H24.8.9, H24.9.4-5）
- (11) 協賛：（一社）日本非破壊検査協会「第21回国際アコースティック・エミッションシンポジウム」（H24.11.27-28）
- (12) 協賛：（公社）自動車技術会「第10回全日本学生フォーミュラ大会」（H24.9.3-7）
- (13) 協賛：（一社）日本検査機器工業会「第6回総合検査機器展」（H24.10.10-12）
- (14) 協賛：（公社）日本材料学会「第42回初心者のための有限要素法講習会」（H24.7.24-25, 8.22-23）
- (15) 協賛：（公社）日本材料学会「2012年度 JCOM 若手シンポジウム」（H24.8.31-9.1）
- (16) 後援：（公社）日本材料学会「はんだ強度評価法の講習会」（H24.8.24）
- (17) 協賛：（公社）日本ガスタービン学会「第40回日本ガスタービン学会定期講演会」（H24.10.17-18）
- (18) 後援：（社）日本溶接協会「第47回原子力国内シンポジウム」（H24.6.22）
- (19) 共催：日本学術会議「第56回材料工学連合講演会」（H24.10.29-30）（1口10,000円）
- (20) 協賛：（一社）日本機械学会「第4回企画講習会」（H24.9.14）
- (21) 協賛：（社）日本塑性加工学会「第63回塑性加工連合講演会」（H24.11.4-6）
- (22) 協賛：日本保全学会「第1回 ICMST 国際会議」（H24.6.22）
- (23) 協賛：（社）日本鉄鋼協会「JST 研究成果公開シンポジウム」（H24.9.18）
- (24) 協賛：（公社）日本材料学会「第3回若手研究者および技術者のための高温強度講習会」（H24.10.10-12）
- (25) 協賛：（公社）日本材料学会「第50回記念高温強度シンポジウム」（H24.12.6-7）
- (26) 協賛：（社）日本鉄鋼協会「第211・212回西山記念技術講座」（H24.11.9, 11.16）
- (27) 協賛：（公社）日本材料学会「第13回機械・構造物の強度設計，安全性評価に関するシンポジウム」（H25.2.22）
- (28) 協賛：（一社）日本高圧力技術協会「き裂欠陥に対する供用適性評価手法」（H25.9.13-14）
- (29) 協賛：（社）腐食防食協会「第59回材料と環境討論会」（H24.9.24-26）
- (30) 協賛：（社）腐食防食協会「第176回腐食防食シンポジウム」（H24.7.27）
- (31) 協賛：（社）腐食防食協会「第59回技術セミナー」（H24.9.19）
- (32) 協賛：（社）腐食防食協会「第39回コロージョンセミナー」（H24.8.22-24）
- (33) 後援：（一社）日本工作機械工業会「第15回国際工作機械技術者会議」（H24.11.1-6）
- (34) 協賛：（一社）軽金属学会「第90回シンポジウム軽金属材料の摩擦接合」（H24.9.14）
- (35) 協賛：（社）日本鉄鋼協会「第20回白石記念講座」（H24.12.13）
- (36) 協賛：（一社）エレクトロニクス実装学会「第22回マイクロエレクトロニクスシン

- ボジウム」(H24.9.12-13)
- (37) 後援：(財)溶接接合工学振興会「第32回セミナー 溶接補修の最前線」(H24.10.24)
- (38) 協賛：(一社)日本機械学会「2012年度機械の日・機械週間」(H24.8.4,7)
- (39) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「平成24年調査研究発表会」(H24.9.18)
- (40) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手の品質確保のための施工管理講習会」(H24.10.18-11.29)
- (41) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「平成24年度 KAST 教育講座」(H24.11.28,12.4)
- (42) 協賛：(公社)日本材料学会「第9回原子レベルのシミュレーション入門講習会」(H24.12.10-11)
- (43) 協賛：(公社)日本材料学会「第61期金属・ガラス部門・分子動力学部門合同委員会」(H24.9.7)
- (44) 協賛：(公社)日本材料学会「第32回疲労講座 はじめての金属疲労」(H24.11.15)
- (45) 協賛：(公社)日本材料学会「微小サンプルクリープ試験法標準に関する講習会」(H24.9.28)
- (46) 後援：(社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会」(H24.8.24)
- (47) 協賛：(社)日本溶接協会「プラント圧力設備の新しい溶接補修規格シンポジウム」(H24.10.1)
- (48) 後援：(社)日本溶接協会「原子力構造機器の材料，設計，施工，検査，維持に関する講習会」(H24.11.27-28)
- (49) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第211・212回西山記念技術講座」(H24.11.9,16)
- (50) 後援：(社)日本溶接協会「スーパーアロイの特性と溶接」(H24.9.13)
- (51) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「第22回圧力設備の材料，設計，施工，維持管理の基礎」(H24.11.8-9)
- (52) 協賛：レーザー加工学会「第78回レーザー加工学会講演会」(H24.12.13-14)
- (53) 共催：エコデザイン学会連合「エコデザイン2012ジャパンシンポジウム」(H24.12.11-12)
- (54) 協賛：(一社)日本機械学会「第10回最適化シンポジウム2012」(H24.12.6-7)
- (55) 協賛：(公社)日本材料学会「第49回X線材料強度に関する討論会」(H24.12.7)
- (56) 協賛：(公社)日本材料学会「第18回初心者のための疲労設計講習会」(H24.12.10-11)
- (57) 協賛：(一社)日本機械学会「設計・開発のための特許戦略講習会」(H24.11.1)
- (58) 協賛：(一社)日本機械学会「魅力を設計する講習会」(H24.11.30)
- (59) 協賛：(一社)日本機械学会「関東支部2012年度セミナー技術者倫理」(H25.1.17)
- (60) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第11回保守検査シンポジウム」(H24.11.15)
- (61) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第1回京都大学次世代低炭素ナノデバイス創製ハブ見学会」(H24.11.16)
- (62) 協賛：(社)日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2012」(H24.11.15-16)
- (63) 協賛：(社)日本溶接協会「LMP シンポジウム2013」(H25.1.28-29)
- (64) 協賛：(公社)日本ガスタービン学会「第41回ガスタービンセミナー」(H25.1.24-25)
- (65) 協賛：(一社)レーザー加工学会「第6回レーザー先端材料加工国際会議」(H25.7.23-26)
- (66) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「第13回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(H25.2.7-8)
- (67) 協賛：大阪大学 接合科学研究所「最新の接合技術の現状—レーザーとFSW—」(H24.12.5)
- (68) 協賛：(公社)腐食防食学会「環境—エネルギーフォーラム2012 in 名古屋」(H24.11.14)
- (69) 協賛：(公社)腐食防食学会「第38回腐食防食入門講習会」(H24.11.21-22)
- (70) 協賛：日本複合材料学会「第4回日本複合材料合同会議」(H25.3.7-9)

- (71) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第44回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H25.1.22-23)
- (72) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「第20回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H25.1.28-29)
- (73) 協賛：(公社)日本材料学会「第47回X線材料強度に関するシンポジウム」(H25.7.18-19)
- (74) 協賛：(公社)日本材料学会「第18回分子動力学シンポジウム」(H25.5.17)
- (75) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会設立50周年記念例会」(H25.1.21)
- (76) 共催：四国地域イノベーション創出協議会「第18回溶接・表面改質フォーラム」(H24.11.8)
- (77) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「想定外を言い訳にしないエンジニアリングを目指して」(H25.3.1)
- (78) 協賛：(一社)日本高圧力技術協会「国内外の圧力容器規格の動向と解説」(H25.3.5-6)
- (79) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会 第291 回例会」(H25.3.13)
- (80) 協賛：(一社)日本計算工学会「第18回計算工学講演会」(H25.6.19-21)
- (81) 協賛：日本保全学会「第13回保全セミナー」(H25.2.1)
- (82) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「表面探傷技術による健全性診断」(H25.3.18-19)
- (83) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第17回関西支部若手研究会セミナー」(H25. 1.22)
- (84) 協賛：(一社)日本非破壊検査協会「安全・安心な社会を築く先進材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H25.3.25-26)
- (85) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第27回エレクトロニクス実装学会春季講演大会」(H25.3.13-15)
- (86) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「第9回技術講演会」(H25. 2.22)
- (87) 協賛：(公社)腐食防食学会「第177回腐食防食シンポジウム」(H25.1.23)
- (88) 協賛：(一社)日本接着学会「第51回日本接着学会年次大会」(H25.6.20-21)
- (89) 協賛：(一社)日本塑性加工学会「平成25年度塑性加工春季講演会」(H25.6.7-9)
- (90) 協賛：(一社)エレクトロニクス実装学会「ICEP2012 (実装技術国際シンポジウム)」(H25. 4.10-12)
- (91) 協賛：日本顕微鏡学会「第23回電子顕微鏡大学」(H25.6.13-14)
- (92) 後援：(一社)日本溶接協会「スーパーアロイの特性と溶接講習会」(H25.2.18)

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡，情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本鋼構造協会	JSSC
軽金属溶接協会	軽金属溶接	日本鉄鋼協会	鉄と鋼
高圧ガス保安協会	高圧ガス	〃	ふえらむ
電気学会	電気学会誌	〃	ISIJ International
土木学会	土木学会誌	日本溶射協会	溶射
日本機械学会	日本機械学会誌	日本溶接協会	溶接技術
日本金属学会	まてりあ	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌 KANRIN (咸臨)
日本建築学会	建築雑誌	日本接着学会	日本接着学会誌

6. 国際活動 (定款4条項4)

6.1 国際溶接学会 (IIW) 関連

日本溶接会議 (JIW) の活動を支援して年間を通じ国際溶接学会 (IIW) の日常活動及び第66回年次大会 (ドイツ・エッセン，9月11日～17日) に参加した。参加者は46カ国755名。

6.2 アジア溶接連盟 (AWF) 関連の活動に参加した。

6.3 次のとおり機関誌を交換し，研究情報の交流を推進した。

誌名	国名
1 Australian Welding Journal	オーストラリア
2 Schweiss- & Pruftechnik	オーストラリア

3 Soldagem & Inspecao	ブラジル
4 Welding and Cutting	ドイツ
5 Hitsaus Tekniikka	フィンランド
6 Rivista Italiana della Saldatura	イタリア
7 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	韓国
8 大韓溶接学会誌	〃
9 Lastechnik	オランダ
10 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド
11 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
12 Welding & Material Testing	ルーマニア
13 Sudura	〃
14 Revista de Metalurgia	スペイン
15 Svetsaren	スウェーデン
16 Welding International	英国
17 Connect	〃
18 Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
19 Zavaranie svarovani	スロバキア
20 地質学報	中国
21 金属学報	〃
22 鋼 鉄	〃
23 冶金分析	〃
24 China Welding	〃
25 Weldpoint	シンガポール

II. 会 務 報 告

1. 第81回通常総会

日 時 平成25年4月18日(木)
開会 午前10時00分 閉会 午前11時35分
場 所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-1
学術総合センター 一橋記念講堂
議決権を有する者：代議員 102名
出 席 20名
委任状 51名
合 計 71名(総数102名)

議 事

- | | |
|-------------------------|----|
| ①平成24年度事業報告の件 | 承認 |
| ②平成24年度決算報告の件 | 承認 |
| ③監査報告 | 承認 |
| ④平成25年度事業計画の件 | 報告 |
| ⑤平成25年度予算の件 | 報告 |
| ⑥名誉員の推薦 | |
| ・浦谷良美 | |
| ⑦特別員の推薦 | |
| ・池内建二 ・竹本 正 ・寺崎俊夫 ・三木千壽 | |
| ⑧表彰の件 | |
| 溶接学会功績賞 | |
| ・高 隆夫 ・中西保正 | |
| 溶接学会業績賞 | |
| ・片山聖二 ・小溝裕一 ・里中 忍 | |
| 佐々木賞 | |
| ・石出 孝 ・井上裕滋 | |
| 溶接学会論文賞並びに論文奨励賞 | |
| 溶接学会論文賞 | |

- ・辻村吉寛, 田中 学
- ・脇坂泰成, 鈴木孝典
- 溶接学会論文奨励賞
- ・門田圭二 ・佐々木朋裕 ・三津谷維基
- 田中亀久人賞
- ・小川剛史, 星 岳志, 浅井 知, 大嶽達哉, 藤田善宏
- 溶接学術振興賞
- ・松浦清隆(北海道支部推薦) ・安田功一(東部支部推薦)
- 妹島賞
- ・向井康士, 川本篤寛, 藤原潤司, 大山英俊
- 溶接学会ベストオーサー賞
- ・上山智之, 恵良哲生 ・坂野律男
- 溶接学会技術貢献賞
- ・児玉真二 ・森影 康
- 溶接技術奨励賞
- 北海道支部：柴野純一
- 東部支部：勝木 誠, 佐藤豊幸
- 東海支部：吉田誠太郎
- 関西支部：堅田寛治, 鴨 和彦, 北側彰一
- 溶接技術普及賞
- 北海道支部：河野康則
- 東北支部：奥崎正男, 高橋 博
- 東部支部：石田常夫, 山根 敏
- 関西支部：坂井信之
- 溶接学会研究発表賞
- 平成24年度春季全国大会：梅谷拓郎, 泉谷 瞬, 上田裕司, 三宅将弘
- 平成24年度秋季全国大会：徳永仁寿, 石神篤史, 門井浩太, 北村優介, 辻村吉寛, 若林千智, 田崎智子
- 溶接学会シンポジウム賞
- 1) Mate 2013
- Mate 2013優秀論文賞
- ・谷本 智, 渡辺衣世, 谷澤秀和, 佐藤伸二, 松井康平
- Mate 2013研究奨励賞
- ・山口拓人
- 溶接学会奨学賞
- 北海道支部：間宮正登
- 東北支部：高橋康平
- 東部支部：稲政圭祐, 倉掛 優, 神戸貴博
- 東海支部：清水貴明, 森 智哉
- 関西支部：大矢桂資, 白神和也, 辻 明宏, 鳥形啓輔, 松山法央
- 中国支部：上垣隆徳
- 九州支部：王 楠, 小野祐司
- ⑨溶接学会フェロー認定(入会年順)
- 藤本公三, 中村 満, 廣瀬明夫, 里中 忍, 村川英一, 平 博仁
- ⑩溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及びその活用状況報告

①感謝状贈呈

関西支部殿（平成24年度秋季全国大会開催担当）

2. 理事会（定例6回）

本年度の主な議題・決議事項

(1) 平成24年度事業報告・決算

平成24年度事業報告・決算について承認した。また、公益目的支出計画の実施状況についても承認した。

(2) 学会組織運営

①平成26・27年度代議員選挙に関し、選挙管理委員会委員を指名し、代議員の定数を決議した。

②平成25年度各賞授賞審査委員長を指名し、審査委員会について承認した。

(3) 学会活性化・効率化

①「第5回連合講演会」を平成26年春季全国大会（東京ビッグサイトにて2014国際ウェルディングショーが併催）において、日本溶接協会および産報出版社と共同開催することを承認した。

②「溶接学会論文賞並びに論文奨励賞に関する規定」について、授賞審査部門区分と論文投稿時の分類部門区分を対応させるように改訂することを決議した。

③平成25年度名誉員・特別員を推薦し、各賞受賞者について承認した。

④平成26年春季全国大会から優秀な発表に対して、投稿論文のエクプレス査読特典サービスを試行的に開始することを決議した。

⑤平成26年度に専門（分野別）講座の第1回目として「溶接部の組織理解（仮題）」を溶接教育委員会と溶接冶金研究委員会が共同開催することを承認した。

⑥平成27年度から全国大会講演概要集のWEB化（ペーパーレス化）を開始することについて議論・検討した。

(4) 研究委員会活動

①研究推進部会規定にミニ研究委員会を追記、改訂することを決議した。また、特別研究委員会、アドホック研究委員会、ミニ研究委員会の新規テーマ立上げについて議論した。

②Mate2014に関し、Mate2013と同様の形でスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と溶接学会マイクロ接合研究委員会の共同開催とすることならびに「Mate2014の共同開催に関する覚書（案）」について承認した。

③「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会の活動継続ならびに主査交代を承認した。

(5) 財務強化

①正員および賛助員の減少をリカバーするため理事会、企画委員会、支部長が中心となって「入会勧誘キャンペーン」を行うことを決議した。

②平成26年度より消費税アップに対応して、全国大会講演概要集の価格改訂を決議した。

(6) 平成26年度事業計画・予算

平成26年度事業計画・予算について承認した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（小溝裕一委員長）

年度内5回の委員会を開催し、溶接学会の役割を「情報発信

の場」、「人材育成の場」と位置づけ、「ものづくり科学のインターフェイスとしての活発な研究交流」が図れるよう、以下の活動基盤強化アクションプログラムを展開した。

(1) 若手活性化アクション：これまで若手の会が主催していたポスターセッションを、H25年秋季全国大会より常設化することとした。そのため優秀ポスター発表賞に関する規定及び内規を整備した。また、募集要領、審査方法などを定めた。

(2) 論文査読アクション：論文査読システムを電子化することとし、投稿規定を改訂した。論文投稿数を増加させるため、Expressシステムを導入することとし、まずは全国大会での推薦論文からスタートすることとした。また、論文賞・論文奨励賞の審査部門と論文投稿時の分類部門を対応させるように規定を改定した。

(3) 全国大会アクション：H26年度より、講演概要集を消費税アップ対応として1,000円値上げすることとした。また、H27年度から講演概要集を廃止し、デジタル化することとし、それに伴う参加費を議論した。

(4) 情報システム化アクション：コンテンツのアップロードは全国大会講演概要が既に完了しており、学会誌のアップロードは現在では2011年度に発刊した分まで完了している。情報公開については、J-Stageでは会員のみ公開しているが、論文を一般に公開するかどうかを検討中。一方で学会誌は会員のみとする。また、日本溶接協会の溶接情報センターとのコラボレーションとして、軽構造研究委員会編「抵抗スポット溶接」のe-bookが、閲覧可・ダウンロード不可の形式で公開された。

(5) 研究委員会アクション：専門分野別講座について、各研究委員会のアンケート調査を実施するとともに、3Dプリンタに関する新しい特別研究会の立ち上げを検討した。また、材料戦略委員会から要請のあった社会インフラ材料学の夢ロードマップ2014に対し、溶接学会のロードマップを提案した。

(6) 教育関係アクション：溶接工学専門講座を共通講座と専門（分野別）講座の2体制とすることとした。「入門講座」と「夏季大学」を共通講座とし、専門講座は各研究委員会主体とする。まずはH26年度溶接冶金研究委員会からスタートすることとした。

(7) メールマガジン：「溶接学会便り」の配信を開始した（年4回）。

(8) 日中韓ジョイントシンポジウム（EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）：中国→日本→韓国のホスト国順で日中韓ジョイントシンポジウムを平成23年度から毎年開催することとなり、第三回目が平成25年11月22日にプサン（韓国）で開催された。日本から9件の発表を行った。

3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度初めの定例委員会で協議した情報化方針をふまえて、WG打合せ、E-mail持ち回り協議を行い、本会活動の情報化に関する以下のようなワークを実施した。一部は、日本溶接協会（JWES）溶接情報センターとの連携で行った。

(1) 科学技術振興機構（JST）でのアーカイブ化コンテンツの公開：本会の会誌、論文集、及び全国大会講演概要を、

本会ホームページ (HP) から JST にリンクを張って以下のように公開中である。

- ・学会誌：創刊号～2011年度発行分を J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。次年度は2012年及び2013年度発行分のアップロードを予定している。なお、発行3年以内の学会誌は会員限定公開で、非会員には非公開。
- ・論文集：第1巻（1983年度）～第31巻（2013年度）までを J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。
- ・講演概要：2003年度秋季大会～2013年度秋季大会までを J-STAGE にアップロード済みで、一般公開している。

(2) Steel Science Portal とのリンク：日本鉄鋼協会が開設した Web サイト “Steel Science Portal” へ本会論文集の書誌情報をリンクさせることとした。Steel Science Portal の特徴的な機能は

- ・J-STAGE, CiNii, ScienceDirect, SpringerLink の4つで横断検索が可能
- ・主要な鉄鋼関係ジャーナルのアブストラクト等を掲載
- ・論文には altmetrics の指標を付与
- ・主要海外ジャーナルおよび主要国内鉄鋼企業の技報をリンク
- ・鉄鋼関係の最新ニュースやトピックスをツイッターで入手可能

で、国内外からの本 Web サイトへのアクセスにより、本会論文集の国際的情報発信力の強化になり、知名度向上にもつながることが期待される。

(3) 溶接接合教室（基礎を学ぶ）の溶接情報センターでの公開：本会 HP から溶接情報センターにリンクを設け、「溶接接合教室（基礎を学ぶ）」を一般公開している。今後は、「溶接接合教室（応用編）」も公開することを予定している。なお、発行後3年を経過しているかどうかによって、以下のように公開の仕方が異なる。

- ・発行3年を経過した記事：一般公開
- ・発行後3年未満の記事：会員限定公開（ここでいう会員とは、溶接学会員、日本溶接協会団体会員・個人会員）

(4) 溶接学会便りの発行：会員向けのメール情報として、溶接学会関連の動きならびに最新情報を E-mail で届ける「溶接学会便り」の発行を開始した。年に4回（3ヶ月毎）の発行予定で、No.1（創刊号）を7月に、No.2を10月に、No.3を2014年1月に発信した。

(5) 研究委員会資料閲覧システム：研究委員会で報告される資料（コンテンツ）を閲覧できるシステムを有効に利用するために、システムへのコンテンツのアップロード手順を本会 HP 内の「研究委員会活動の紹介」から閲覧できるようにした。なお、資料の公開範囲、公開レベル（一般公開か、委員限定公開かなど）、ダウンロード課金の有無は、各研究委員会の判断による。

HP 管理：本会 HP のトップページの一部改定、および、新着コンテンツの整備と load-up を行った。

3.3 編集委員会（廣瀬明夫委員長）

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文

集は WEB 論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、下記に示す7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。

- 「新生ニッポンを築く新産業創成への挑戦」
- 「溶接プロセスの可視化・シミュレーション技術－溶接法ガイドブック7より－」
- 「FSW」
- 「東京スカイツリー®を支える鋼材・溶接技術」
- 「溶接・接合をめぐる最近の動向」
- 「溶接構造物の損傷と溶接力学の温故知新」
- 「溶接構造物のメンテナンス技術」
- 「レビュー&トレンド：鋼中水素と低温割れ」

また、溶接接合教室－実践編－を前年度から継続して連載した。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター113名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成24年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告を Vol.82 No.5 に掲載した。アンケート結果も考量して、年間の学会誌掲載記事より、ベストオナー賞候補者3件を選考した。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム (J-stage) にて発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加した。

学会誌印刷・配送費用削減の方策として、学会誌の印刷・配送方法の合理化を実施し、費用削減した。

3.4 論文査読・審査委員会（山根 敏委員長）

平成25年11月15日（金）に埼玉大学東京ステーションカレッジで年一回全委員が集まる定例委員会を開催した。2012年11月開催の大阪大学接合科学研究所主催（溶接学会共催）の国際会議「Visual-JW2012」の特集号（45件の論文）が発刊されたことが報告された。全国大会での推薦された論文を、査読者が査読を引き受けた後、5営業日で査読を行う Express 査読が検討された。これに対応するために平成26年3月末までに査読システムの修正が行われることになった。また、査読委員の負担を減らすために、査読手続きが重なっていた部分を簡略化することになった。

平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近長いものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられるので、改善を行うために、投稿から査読審査結果を得るまでの郵送手続きをすべて廃止し、すべてウェブ上で行えるように査読システムの大規模な改善が行われて、平成25年1月より運用を行った。

本年度は、新システムの運用により論文投稿から査読完了して掲載までの期間が平均85日となり、従来よりも短縮化が図られた。特集号があったために、一般論文の論文受付数は36件と、昨年度の44件より8件の減少となった。また、英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集と STWJ-JWS collaboration 推薦投稿を継続している。

3.5 全国大会運営委員会（田中 学委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成25年度春季・秋季全国大会および平成26年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。

- (2) 講演概要集第92集および第93集を編集発行した。
- (3) 平成25年度秋季および平成26年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 平成25年度春季および秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀研究発表賞」、ならびに平成25年度秋季全国大会研究発表の「溶接学会優秀ポスター発表賞」の審査を実施した。
- (5) 論文査読・審査委員会と協力し、全国大会の新しいサービスとして、優秀な口頭発表に対する推薦論文制度の改革を検討した結果、平成26年度春季全国大会から、「エクスプレス」投稿の特典を贈呈することにした。これに伴い、全国大会での全ての口頭発表を対象とし、全てのセッションごとに座長に加えて審査員を配置して優秀な発表を厳選し、推薦された口頭発表については、後日、学会事務局より発表者へ推薦の通知とともに、「エクスプレス」投稿の特典（1年間有効）を贈呈することにした。

3.6 溶接教育委員会（小川和博委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成25年度溶接入門講座を2回開催した。（前掲）
- (3) 平成25年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (5) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 9名、IWT 0名、IWS 3名がディプロマ資格を取得した。
- (6) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW 特認コースWGを通してアナウンスした。
- (7) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会教育機関（大学・高専・工業高校）の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所のIIW-ATB活動の支援を行った。その結果、IWE18名が最終筆記試験に合格し、ディプロマ資格を取得した。
- (8) 学会の教育機能強化（専門講座の創設）の具体案を検討し平成26年度に第1回専門講座を開催することを決定した。

3.7 国際交流委員会（小関敏彦委員長）

- (1) 日本溶接会議（JIW）の活動を通じ、国際溶接学会（IIW）の活動に参画した。（年次大会：H25/9/11-17、ドイツ・エッセン、中間会議：H26/3/30-4/5、ドイツ・ベルリン（予定））
- (2) 第3回の日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウム（EAST-WJ, The 3rd East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）が韓国・プサンで11/21-22に開催され、全体で約60名、日本から約20名の参加者。

4. 若手会員の会（高嶋康人委員長）

4.1 若手会員のためのフォーラム

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題：溶接接合における評価・解析技術の動向
講 演：藤井慎二氏（株式会社ナックイメージテクノロジ）、城正満氏（株式会社 TSL ソリユーションズ）、橋本匡史氏（橋本鉄工株式会社）
日 時：平成25年4月18日（木）17:30～19:10
場 所：学術総合センター2階 中会議場（春季全国大会開催会場）
参加者：52名
- (2) 秋季全国大会ポスターセッション運営協力
日 時：平成25年9月3日（火）
場 所：岡山理科大学25号館1階ロビー（秋季全国大会開催会場）
発表件数：59件（ポスター発表のみ：10件）
参加者：約170名程度

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 溶接技術講習会&若手の会による講習会と施設見学会（北海道支部と一部共催）
場 所：札幌市教育文化会館 研修室302（講習会）、株式会社竹原鉄工所（見学会1）、北海道立総合研究機構（見学会2）、株式会社日本製鋼所室蘭製作所（見学会3）
日 時：平成25年7月1日（月）～3日（水）
参加者：40名（講習会）、25名（見学会1）、10名（見学会2）、10名（見学会3）
講 師：相山英明氏（北海道立総合研究機構）、田沼吉伸氏（北海道工業大学）、野村和史氏（大阪大学）、尾崎仁志氏（三重大学）、荻原寛之氏（大阪大学）、門井浩太氏（広島大学）、廣畑幹人氏（名古屋大学）、高嶋康人（大阪大学）
- (2) 研究会（1回目、東海支部と共催）と施設見学会
場 所：名古屋市工業研究所 視聴覚室（研究会）、株式会社レーザックス（見学会1）、株式会社最新レーザー技術研究センター（見学会2）
日 時：平成25年10月29日（火）～30日（水）
参加者：44名（講習会）、13名（見学会1）、10名（見学会2）
講 師：近藤正恒氏（愛知県溶接協会）、三瓶和久氏（前田工業株式会社）、松田昇一氏（琉球大学）、岡野成威氏（大阪大学）
- (3) 研究会（2回目）と施設見学会（九州支部若手グループと共催）
場 所：株式会社名村造船所 伊万里事業所
日 時：平成26年2月5日（水）
参加者：24名
講 師：谷野忠和氏（長崎総合科学大学）、門井浩太氏（広島大学）

4.3 若手会員のための勉強会（WELNET 勉強会）

計3回のキックオフ勉強会を開催し、テーマや取組み方について議論した。

- (1) 第1回キックオフ勉強会
日 時：平成25年7月2日（火）14：00～18：00
場 所：北海道立総合研究機構

出席：10名

(2) 第2回キックオフ勉強会

日時：平成25年9月4日（水）14：00～16：00

場所：岡山市民会館

出席：7名

(3) 第3回キックオフ勉強会

日時：平成25年10月30日（水）14：00～16：00

場所：最新レーザ技術研究センター

出席：9名

4.4 広報および情報交換

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に、運営委員会、イブニングフォーラム、シンポジウムの報告等を掲載した。

(2) 溶接学会誌の「スポットライト—若手の特集記事—」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を6件、「じょうほう通」を1件を掲載した。

(3) ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。

(4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。

有効登録者数約230名（平成25年2月28日現在）

E-mail投稿数約80通（平成25年3月1日から平成26年2月28日まで）

4.5 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

(1) 第48回運営委員会

日時：平成25年4月18日（水）12：00～13：00

場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂1階 特

別会議室101（春季全国大会開催会場）

出席：19名（委任11名）

(2) 第49回運営委員会

日時：平成25年9月3日（火）12：00～12：50

場所：岡山理科大学25号館5階 第22552講義室（秋季全国大会開催会場）

出席：21名（委任9名）

5. その他の諸会合

支部長連絡会議	2
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞・ポスター発表賞審査委員会	1
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会技術貢献賞審査委員会	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会勢

会員数（平成26年2月末現在）

賛助員		個人会員						団体員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数
342	849	33	70	10	2,418	225	2,756	33	33